

かさま社協だより

No.35



編集・発行 2018. 3. 30

社会福祉法人笠間市社会福祉協議会広報委員会 笠間市美原 3-2-11 TEL.0296-77-0730
E-mail info@kasama-syakyo.jp URL <http://www.kasama-syakyo.jp/>



うまくできるかなあー（子育てママの応援講座）

撮影 畠山

も く じ

- ① 平成29年度支部地区社協活動研究集会・在宅ケアチーム員研修会 …… 2～3
- ② 子どもへの支援勉強会・避難所開設運営研修会・ちょっといい話…………… 4
- ③ 子育てママの応援講座・ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業 …… 5
- ④ ボランティアセンターだより …… 6～7
- ⑤ お知らせ …… 8



この広報誌は共同募金の配分金を受けています。

研究集会 チーム員研修会



1月27日(土)、笠間市友部公民館で、支部地区社協活動研究集会・在宅ケアチーム員研修会が開催されました。

第1部は「よりよい活動をめざして」と題して、支部社協3地区(稲田支部、北川根支部、下安居地区)からの活動報告がありました。

第2部は「助けられ上手さんになるために」という演題で、住民流福祉総合研究所長の木原孝久さんによる講演がありました。

記念講演 講師 木原孝久様

「助けられ上手さんになるために」



「助けられ上手」が大事になってきたが、自分から「助けられたい」と言う人はあまりいないと講師の木原さんは話す。長野県須坂市の調査では困った時に「助けて」と言える人は3%しかないという。逆に「頼まれなくても助ける(お節介)」は23%。「頼まれたら助ける」は72%と、95%の人は「助ける」と言い、「断わる」と答えた人は5%だけだった。

助けを求めないと行き詰まる

介護殺人や心中が多いのは男性。一生懸命介護するが、閉じこもるのでくたびれる。周りに助けを求めないから行き詰まる。夫が妻を、息子が母親を。孤独死も50〜60代の男性が多く、これらも、助けを求めるか求めないかで結果は大きく違ってくる。

ある要介護の夫婦。妻は病院通い、夫は車イスで助けが必要。「10人に声をかけて何人が助け

てくれる?」と聞くと「9人が助けてくれる」との答え。

迷惑かけ上手も必要と考える

福祉の出発点は助けが必要で、本人で、主導権は当事者が握っている。確かに相手から「ほっといてくれ」と言われたらやりにくい。甘えること、迷惑かけ上手になることも必要と考えよう。当事者があれしてほしいこれしてほしいと言うと周りの人はやりやすい。助けられ上手になるためには、まずは善意を断わらない、助けられたらありがとうと言う、自分の問題をオープンにする、助けてと言える相手を作る、一人は見つける、助け合いのグループに入るなど。

助けられた経験がないと助けられる側の気持ちも分からない。助けられ上手になるということは、助け上手になるためにも大事なことです。(藤森)

木原孝久さんのプロフィール

住民流福祉総合研究所長

東京生まれ。早稲田大学第一政治経済学部卒業後、中央共同募金会などを経てフリーに。40年以上、住民流の福祉のあり方を追求め、セミナー開催、講演などで伝えている。住民流福祉実現の具体策として「ご近所福祉」「助けられ上手」「おつき合い革命」などの普及に力を入れている。

友部地区



様々なニーズに合った地域交流
「福祉活動の報告」

北川根支部長 鈴木 裕

昭和54年4月より発足し活動継続している北川根支部の福祉活動についてパワーポイントをしながら報告しました。

支部の行政区は33区、事業方針「幼児から高齢者に至るすべての住民が安心して過ごせる地域づくり」のもと、主に支部委員(区長)、北川根小学校、友部第二中学校、そして市社協や各種福祉団体と連携を図りながら事業運営を行っている。

◇組織

- ・役員は、支部長・副支部長・会計・監事・顧問の9人
- ・支部委員は、各行政区より福祉推進員
- ・女性部59人(支部の担い手)

◇主な活動(事業)内容

- 1 小中学校との連携
○小学校とは



小学4年生と高齢者の交流

- ・学校訪問での意見交換会
- ・グラウンドゴルフ交流会
- ・収穫祭での協力
- ・登校時の見守り活動
- 中学校とは
- ・学校訪問での意見交換会
- ・家庭科授業のサポート(学校より要請がある時)

- 2 高齢者クラブが果たす地域交流

- ・グラウンドゴルフ大会
- ・毎年、小学校の4年生とグラウンドゴルフを通して交流

- 3 合同茶話会(移動サロン)在宅福祉

- 配食活動(毎月1回程度)
- ・女性部員が交代で調理
- 歳末見舞金

5 研修交流会他

- ・支部研修交流会・女性部研修交流会・北川根ウォーキング・福祉バザー

6 支部だより

- ・年3回発行(次号で135号)
- ※法人会員には、役員が配付しお礼の言葉を伝えている。

◇今後に向けて

- ・地区別サロンの立ち上げ等更にニーズに合った新たな事業展開と会員相互の研修を引き続き行っていきたい。



平成29年度

支部地区社協活動 在宅ケア



岩間地区



下安居地区副運営委員長

佐藤 美明

少子高齢化の先をさぐる



みこしを担ぐ若者

4 敬老事業への協力

心でみこし担ぎで全戸を廻るものです。

・敬老事業の食事は婦人部・社協・育成会の方々が協力して地元でとれた野菜を持ち寄り手作りのお弁当です。

5 三世代交流餅つき大会

・三世代餅つき大会は毎年12月に青年部・子ども会も参加して楽しく行っています。



三世代での餅つき

1 研修会

・研修会は潮来方面で鹿島の工場を視察しました。

2 子育て支援

・子育て支援は小学校の入学児童にささやかなお祝金を贈呈しています。

3 祇園祭り

・祇園祭りは小中校生が中

◆活動の内容

・設立は平成22年で8年目にあたります。

下安居地区は旧岩間町で岩間駅より約8kmのところに位置します。人口270人、世帯数79戸という高齢化の高い地区です。

研修会・子育て支援・祇園祭り・盆踊り・敬老事業への協力・三世代交流餅つき大会などです。

伝統を継承し未来へ向けて

稲田支部長 長谷川 泉



笠間地区

稲田支部は平成25年9月21日設立し、活動方針を次のように定めた。

伝統を継承し、更に未来へ向けて「ふれあい、助け合い、思いやり」の精神を地域に密着して展開する。

・人口約2500人

・世帯数約1000戸

・高齢化率約35%

・小児童生徒数367人

・水戸線稲田駅が最寄りの駅で、国道50号

線・北関東高速道路笠間西インターまで5分。

・支部の行政区 14区

・会員数700人

役員構成

役員9人・運営委員(区長・民生委員等)23人

◆事業内容

1 おしゃべりサロン

・稲田の昔話

・筑波航空隊と特攻隊

・戦後70年「笠間地域の太平洋戦争

・徳川光圀と稲田神社の四

神旗

2 ハイキング

・福原「柊山」

3 研修会

・稲田地内(石の百年館)西念寺・稲田神社・石切山脈(トロッコ道)

・千葉県西部防災センター

・野口雨情生家・同記念館

五浦美術館

・最高裁判所(稲田のみかけ石建造物)

・国会・皇居見学

4 ひとり暮らし高齢者訪問

・80歳以上のひとり暮らし高齢者宅を安否確認とふれあいを兼ね毎年一月に訪問。

5 学習会

・親鸞聖人と稲田禅房西念寺「三七電話」「空き巣」にご用心

6 敬老祝賀会(対象者500人式典とアトラクション

7 広報誌の発行

「稲田支部だより」年2回発行

創刊号平成25年10月10日



敬老祝賀会でのフラダンス

子どもへの支援勉強会

子どもたちの未来を考えると
「わたしたちができること」

一般社団法人 栃木県若年者支援機構 代表理事 中野謙作氏を迎えて、2月28日（水）、参加者32人で「子どもへの支援勉強会」が開催されました。

講師より、平成28年度茨城県における子どもの貧困率は13.9%（18歳未満の7人に1人が生活困窮家庭）。

「生活保護・不登校・窃盗など表面に見える部分は氷山の一角。ニート・いじめ・夜間徘徊・発達障害・家庭内暴力・機能不全家族など見えな部分には困難がたくさんある」との説明があった。

子ども・若者・困窮者支援の基本は学ぶ・食べる・働くことで、学習支援は子ども支援の核の一つである。子ども食堂では「家族の食卓」の体験をさせ、最後に就労体験を通して就労支援を行う。

学習支援や子ども食堂をする理由は、①生活支援から自立支援につながる②相談できる人・相談できる場をつくる



社協研修室にて

ことで、本人に安心をつくる③個々の可能性を広げること
で誰もが社会生活に適応できる。

これからは、居場所づくり・子ども食堂・就労体験など困難を抱える子どもや若者の求めるものを作り、入り口である相談から出口の就労等の自立までを一貫して支援していくことである。

自らヘルプやSOSを出せることが大切。でも、家族や先生、友人にはなかなか言えないのが現実。

いつでも相談できる人・いつでも相談できる場として、まずは笠間市自立相談支援機関（笠間市社会福祉協議会）に相談くださいとのことでした。
（高野）

平成29年度 友部地区社協研修 「避難所開設・運営研修会」

2月21日（水）友部地区社協の6支部の役員約40人が出席し、友部社会福祉会館で研修会が開かれました。

この研修会は、これから地域で暮らす中の生活課題を、支援する側・受ける側の立場に立ち、各支部でも話し合い考える場を設けていただき、身近な地域で誰もが助け合い支え合える支部づくりを進めて行く手段の一つとして開催したものである。

初めに、NPO法人 茨城県防災士会 志村謙一防災士の、映像を使った講話を聞き、
①避難所開設・運営研修説明
②避難所の部屋割り訓練
③避難所生活ルール作り
④各班発表
⑤質疑応答・まとめ
と、講義が進みました。

次に、各支部ごとに学校の見取り図を使って避難所が開設されたことを想定して話し合いが始まりました。

(1)施設の使い方や図面を使って、部屋割りを考える



各支部ごとに発表する役員の皆さん

(2)入居時の課題について
(3)「生活ルール」を考える
大事なことは、学校が避難所となった場合、大切な物や貴重品などが置いてある部屋へは入らないということ。
入居時の課題として、高齢者、要配慮者、乳幼児などへの対応は？旅行者や外国人の方がやってきたら？ペット連れの家族は？...と様々な問題が出されました。
生活のルールづくりでは、ある日突然に集団生活となり、不安や課題がある中、皆で助け合って難局を乗り越え、復興に向かうために最低限の「ルール」を決めて、守っていくことが必要であると学びました。
（関）

ちょっといい話

いよいよ新年度。この節目に当たって新生活を迎える方もいらっしゃると思いますが、そうでない方にも初心は大切です。

本来は禅宗において、「慢心がないかを省み、もしあればそれを置いていく」という意味です。これは、新しいことを始める時や、仕事や勉強だけでなく日常生活でも大切です。なぜならば、つい流されがちな日常を改めて初めからの時のように新鮮さを持つて楽しむことや、当たり前のことを当たり前と思わない用心深さなどにも繋がるからです。

例えば、今年の3月で震災から7年が経ちました。笠間市は東北地方と比べると甚大な被害は免れましたが、当時のことを忘れないだけでも、いざという時の備えや精神的な余裕にも繋がります。

昔から「初心忘るべからず」という格言もあるとおり、胸に刻んでおこうと思います。自戒をこめて。

（入江）



手提げ袋

お子さんの入園や入学に必要な、手提げ袋やシューズ入れなどを作る講座を開きました。

教えてくださったのはボランティアサークル「バザー夢工房」のみなさん。お子さんの託児は「ととののいえ」のみなさんを中心にボランティアの方々にお願ひしました。

2月23日(金)は手さげ袋、3月7日(水)はシューズ入れ作りに挑戦。会場は、友部



仲良く遊んだよ



ボランティアさんの協力で作り上げた

社会福祉会館2階の研修室と和室。となりを託児室にし、子どもたちの顔を時々のぞきながらの2時間でした。

寸法の測り方、ミシン、アイロンの使い方など、ベテランの皆さんのテキパキとした指導を受けながら、参加したママさんそれぞれ特色ある作品ができました。

ぐずって

いた子どもたちも、最後は笑顔で、ママの作品を持って帰りました。

(藤森)



シューズ入れ



心を編みこんで

笠間市内には70歳以上のひとり暮らしの高齢者は1791人おられます。この事業は、ひとり暮らしの高齢者を対象に、民生委員が各家庭を訪問し「見守りところのふれあい」を図るものです。訪問先で会話をすることで日頃の生活の不安や悩みを聞き、地域で孤立することのない安心した暮らしが送れる地域福祉を目指すために平成26年から実施しています。

本年度もボランティアのご協力をいただき、ひとつひとつ心を込めて編み上げた、ひまわり、のアクリルたわし(1830個)と飴と市内各小

この作業をしてくださったボランティアさんは「いただいて嬉しいなと思ってもらえるように、ひまわりの花びら一つ一つ丁寧に広げて袋詰めしています。ひまわりは夜な夜な編みました」と話してくださいました。

この準備をしてくださったボランティアさん、プレゼントをお届けくださった民生委員さん、各小学校児童のみなさん大変お世話になりました。事務局には感謝のお手紙やお電話が寄せられています。その一部をご紹介します。



ひとり暮らしの高齢者ふれあい訪問事業
—花びらに思いを込めて—
笠間市社会福祉協議会



まごころを袋に詰めて

笠間市内の小学生、4～6年生の心温まるメッセージを紹介します

〇しゅみやいろいろなことをがんばって、元気でいてください。

〇こんにちは。初めまして。お元気ですか。このごろは寒いですね。お体に気をつけて寒さに負けない体をつくり続けて下さい。そして周りにいる方々と楽しくすごすのが一番です。みんなと楽しくいれば楽しくすごせると思います。元気に長生きしてください。お体にもじゅうぶん気をつけてください。

～お礼の手紙と電話～

- ・毎回心こめた手づくりの品をありがとうございます。皆様によりしくお伝えください。
- ・メッセージありがとうございます。楽しく読ませていただきました。寒さ厳しい毎日ですが、心があたたかくなるような、うれしいお手紙でした。本当にありがとうございます。どうか身体を大切に楽しい学校生活をお過ごしください。心ばかりのプレゼントと共に私からのお手紙を受けとってくださいね。ご家族様にもお身体を大切にとお伝えくださいませ。本当にありがとうございます。

センターだより

づくりを目指して

「第一火曜日の会」では、1月に社協笠間支所でまゆ玉を使った干支のいぬづくり、2月に「地域交流センターいわま」の見学会、3月に友部社会福祉会館でいけばな教室を開き好評を得ました。

平成29年度ボランティア連絡協議会研修会では、各地区ごとに輪投げ大会（笠間地区）福祉バザー（岩間地区）映画鑑賞（友部地区）を行い、たくさんの方の参加がありました。

平成30年度に向けて、ボランティア講座（4講座）を計画しました。ご応募をお待ちしています。

第二火曜日の会

1/9 まゆ玉で干支「いぬ」づくり 10人参加

社協笠間支所で、茨城生物の会会員堤徳郎さん（下郷在住）を講師に迎え、今年の干支飾り（戌）をまゆ玉で作りました。

10人の参加者は、堤さんから笠間の養蚕の事や、今話題になっているまゆで作る「化粧水」についての情報を得ることができました。



2/13 「地域交流センターいわま」見学会 23人参加

昨年12月9日にオープンした「地域交流センターいわま」（愛称あたご）は岩間駅西口から徒歩3分にあります。

正面玄関を入ると、畳3帖



川島館長の説明を聞く皆さん

3/6 「春のお花で小さなアレンジ」 25人参加



程もある「愛宕山」の風景画とびこんできて「まあ、ステキ！」と言う声が…。そこから左に折れると、ガラス張りの広々としたホールに入ります。西にそびえる「愛宕山」が良く見えて、木の香りが漂うとても素敵な空間でした。

特に印象的だったのは、シャワー室が3基設置されていることで、夏の登山客などに喜ばれるのではないかと思います。

「山」がピンク色に染まる頃に、再び訪れてみたい場所となりました。（R・S）

友部社会福祉会館で、笠間市まちづくり出前講座いけばな講師成田恵子さんを迎え、小さな空缶にピンクのスイートピーなど春の花を生けました。

数すくなきは心ふかし

自分の想いをお花に託して少しのお花でも飾る人の想いは伝えることができます。

今回はお花には限りがありましたが、会場は花の香りいっぱいあふれ、参加された方々の顔も明るく華やき、アレンジした花を大切に持ち帰りました。



さあ、生けてみましょう

平成23年度から「第一火曜日の会」が始まり、6年がたちました。平成30年度より、年4回・内容を充実させ、再スタートとなります。



平成30年度「第一火曜日の会」の予定

年 月	内 容	時 間	場 所
6 月	施設見学	10:00~12:00	地域医療センターかさま
9 月	スペシャル	10:00~14:00	笠間市地域福祉センターともべA館※①
12 月	工 作	10:00~12:00	社協笠間支所
H31 3 月	おやつ作り	10:00~12:00	笠間市地域福祉センターいわま※②

問い合わせ 笠間市社会福祉協議会ボランティアセンター TEL 0296-78-2626 詳しくは、「広報かさま お知らせ版」をご覧ください

[注] 6~7頁 ※①笠間市地域福祉センターともべA館（旧友部社会福祉会館） ※②笠間市地域福祉センターいわま（旧岩間保健センター）



福祉バザー（地域交流センターいわま）

ボランティア

住みよいまち

平成29年度ボランティア連絡協議会研修会

ボランティア連絡協議会は各地区ごとに組織されたボランティアの資質向上を目的に学習会などを行い、仲間づくりや交流を深めています。

笠間地区
10/4(木) 輪投げ大会
笠間市民体育館 165人参加

笠間支所のボランティア交流会は本年度で4回目の「輪投げ大会」となりました。

体育館を使っての交流会は

笠間支所の恒例となりつつあ

ります。33チームが、グルー

プ対抗で入賞・飛び賞・当日

賞をつくり景品にも工夫をこ

らし、楽しみながら日頃交流

することのないボランティア

同士が集うことができました。

岩間地区
3/9(金) 福祉バザー
地域交流センターいわま 68人参加

岩間支所では、地域交流セ

ンターいわまでボランティア

活動のPR・地域住民との交

流を深めることを目的に福祉

バザーを開催しました。

当日は雨のため室内になり

ましたが、チンドンが場を盛

り上げ、昼食を食べながら、

ボランティア同士の親睦を図

ることが出来ました。

友部地区
3/17(土) 映画鑑賞と交流会
友部公民館 175人参加

友部公民館3階の大ホール

で『あん』主演樹木希林の映画

鑑賞を行いました。

「やり残したことはありません

せんか」の問いかけで、生き

ていく意味を考えさせられた

映画でした。

そのあと、昼食と交流会が

あり、話の輪が広がり、帰り

には、ささやかなプレゼント

がありました。

食事作りボランティア



社会福祉協議会が実施して
いる、配食サービス事業、会
食サービス事業、介護予防・
生活支援事業の利用者への食
事づくり活動です。

楽しく活動に参加しながら、

仲間づくりやコミュニケーション

の場をひろげてみませんか。

配食ボランティア



配食サービス（70歳以上の

ひとり暮らし高齢者等）を利

用しているお宅に訪問して、

ボランティアによる手作り弁

当を届けていただく活動です。

ボランティアが直接お弁当

を手渡し、会話をすることに

より、こころのふれあいや安

否確認にもつながります。

その他にも様々なボラン

ティア活動があります。一緒

に活動してみませんか。

活動日、場所等につきましてはお問い合わせください。

ボランティア募集

問い合わせ先

ボランティアセンター
笠間支所
岩間支所

TEL 0296-78-2626
TEL 0296-73-0084
TEL 0299-45-7889

平成30年度 ボランティア講座の募集について

講座名	開催日時	開催場所	講座について
手話奉仕員養成講座	5月15日(火)～平成31年3月19日(火) 毎月第1・3火曜日 13:30～15:30	笠間市地域福祉センター ともべA館※①	手話で日常会話を行うのに必要な手話表現技術を習得し、聴覚障がい者のサポートをしたり、交流活動をしてみませんか？
傾聴ボランティア講座	6月13日(水)・6月20日(水)・6月27日(水) 9:15～12:15	社協笠間支所	相手の気持ちを受け入れ心を込めて聞くための学習です。
女性の食事学講座	5/29(火) 6/12(火) 6/20(水) 7/4(水) 7/19(木) 9:00～12:00	笠間市地域福祉センター いわま※②	「高齢者の食事」について学習し福祉活動についての理解を深めてもらい、さらにボランティア活動への参加をしていただくことを目的としています。
	9/5(水) 9/19(水) 10/3(水) 10/17(水) 10/31(水) 9:00～12:00	笠間市地域福祉センター ともべA館※①	
男性の食事学講座	5/31(木) 6/14(木) 6/21(木) 7/5(木) 7/24(火) 9:00～12:00	笠間市地域福祉センター いわま※②	日頃、なかなか台所に立つことが少ない男性の皆さん、料理作りに挑戦しませんか？また料理の腕を上げて、ひとり暮らし高齢者へのお弁当作りボランティアとして活躍してみませんか？
	9/6(木) 9/20(木) 10/4(木) 10/18(木) 11/1(木) 9:00～12:00	笠間市地域福祉センター ともべA館※①	

友部ボランティアセンター
笠間支所
岩間支所

TEL 0296-78-2626
TEL 0296-73-0084
TEL 0299-45-7889

FAX 0296-78-2626
FAX 0296-72-3722
FAX 0299-45-6250

その他の講座は、決まり次第「広報かさま お知らせ版」に掲載します



善意の寄附を「ありがとう」 (善意銀行預託)

平成29年12月1日～平成30年2月28日まで(順不同・敬称略)

物 品

笠間工芸の丘
県立中央病院(施設課・消毒室・リネン室)
岩間第一小学校
いわま保育園
稲田中学校
大原小児童クラブ(ポプラの会)
友部第二中学校 JRC委員会
岡本興業(株)
児山 甚子
ともべ保育所
穴戸小学校児童クラブ
友部自動車学校
めぐみこども園
セキスイハイム工業株式会社 関東事業所
くるす保育所
稲田小児童クラブ
泰米電器株式会社
ともべ幼稚園
ナブコシステム(株) 茨城支店
森田屋
金澤 百花
川松 美佐子
すみれこども園

みか保育園
山中 としい
旭化成メタルズ(株)
畔津 忍
土師地区社会福祉協議会
額田 義文
高橋 信義
茨城県立中央看護専門学校
興野ダンスアカデミー
笠間陽だまり館
こじか幼稚園
ありんこ
茨城県動物指導センター
岩間第一小学校児童クラブ
小貫 孝子
江幡電気工事店
(有) 笠間給食センター 従業員一同
茨城県立友部東特別支援学校小・中・高等部
(有) 伊藤石材工業
さくら幼稚園
大田 まき江
大沢保育園
匿名

日用品等

高齢者クラブ原宿会
青柳 けい
塙 よし江
大熊 綾子

食品等

愛の里
上郷地域うまい米づくり研究会
(株) 笠間ソフトメン橋本屋
匿名

金 銭

川嶋 志乃舞 ￥2,000
笠間エス・シー協同組合 ￥2,700
常陸農協 笠間地区花き部会 ￥20,000
萩谷 憲一 ￥3,000
ごみを考える会 ￥5,000
友部読書会連合会 ￥10,000
(有) 笠間給食センター 従業員一同 ￥6,392
笠間市ボランティア連絡協議会友部支部 ￥50,000
匿名 ￥30,724

編集後記
今年(平成30年)は寒冬なのか。1月22日(月)の午後より降り出した雪は夜半まで降り、23日の朝起きてみて驚いた。何と計ってみたら17cmも積もっていた。都心では23cm、水戸では19cmも積もったそう。ところで、降雪時に過去には大事件が発生している。有名どころでは、安政7年3月3日(1860年3月24日)に、江戸城桜田門外で、水戸藩の脱藩浪士17人と薩摩藩士1人が、彦根藩の行列を襲撃し、大老・井伊直弼を暗

殺した桜田門外の変。昔仕事の関係で静神社を訪れた際、居間に桜田門外の変の絵が飾ってあるので、何故ですかと尋ねたところ、この神官・斎藤監物がこの襲撃に参加したとの事だった。また、近年では、昭和11年(1936年)2月26日より29日にかけて日本陸軍の青年将校らが、1483人の兵を率いて、昭和維新等を掲げて起こした二二六事件。今、世の中では、大國と小國間で不安定な空気が漂っているが、何事も無いことを願うばかりである。(内補)

平成30年度 心配ごと相談所開設日程表

日常の困りごとなど何でも相談してください(無料・秘密保持)
時間: 13:00 ~ 16:00 (受付は 15:30 までをお願いします)

	笠間支所 (毎週火曜日)	本 所 (毎週水曜日)	岩間支所 (毎週木曜日)
場所 月	社協笠間支所	地域福祉センターともべA館	地域福祉センターいわま
4月	3日・10日・17日・24日	4日・11日・18日・25日	5日・12日・19日・26日
5月	1日・8日・15日・22日・29日	2日・9日・23日・30日	10日・17日・24日・31日
6月	5日・12日・19日・26日	6日・13日・20日・27日	7日・14日・21日・28日
7月	3日・10日・17日・24日・31日	4日・11日・25日	5日・12日・19日・26日
8月	7日・21日・28日	1日・8日・22日・29日	2日・9日・23日・30日

法律相談 ※法律相談ご希望のかたは、事前に心配ごと相談でのご相談をお願いします。

笠間支所	本 所	岩間支所
第3金曜日 10:00 ~ 12:00 ※5・6・8・1・3月は第4金曜日	第1金曜日 10:00 ~ 12:00	第2金曜日 10:00 ~ 12:00

お問い合わせ先

社会福祉法人
笠間市社会福祉協議会

本 所 TEL 0296-77-0730 FAX 0296-78-3933
笠間支所 TEL 0296-73-0084 FAX 0296-72-3722
岩間支所 TEL 0299-45-7889 FAX 0299-45-6250